

子どもの権利の規定について

権利のカatalog

- 生きる権利(栄養状態が適切で、命が守られ、平和と安全のもと衛生的環境で暮らすこと、かけがえのない自分を自分らしく生きること、個性や他人との違いが認められ尊重されること、秘密が守られること、子どもの権利について学び考える場が提供されること)
- 生きる権利
- 生きる権利(すべての子どもの命が守られること)
- 安心して生きる権利
- ただ「生きる権利」と言うだけではなく「安心して生きていける」というメッセージが伝わる
- よりよく、安心して生きる権利
- 安心して生きる権利
- 生命の権利、生存・発達確保
- 1人の個性ある人として、存在する権利
- 水や食べ物を食べる権利
- 育つ権利(愛情をもってはぐくまれること、学び・遊び・休息すること、健康的な生活を送ること、夢に向かってチャレンジすること、芸術・文化・スポーツに親しむこと、自然と触れ合うこと、質の高い教育を受ける機会をもつこと、)
- よりよく、成長する権利
- 育つ権利
- 健やかに成長できる権利
- 育つ権利(もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療や教育、生活への支援などを受け、友達と遊んだりすること)
- 能力を最大限生かして成長する権利
- 命が守られ、成長が保障されること
- 守られる権利(いじめ、虐待、体罰などから心と体が守られること、障害、民族、国籍、性別、家族状況などを理由としたあらゆる差別や不当な扱いを受けずエンパワメントが図られること、自分を守るために必要な情報や知識を得ること)
- 守り、守られる権利
- 守られる権利
- 守られる権利(暴力や搾取、有害な労働などから守られること)

第3回中野区子どもの権利擁護推進審議会

○参加する権利(気軽に相談し適切な支援を受けること、家庭・育ち学ぶ場所・地域などで自分の意見を言えること、表明した意見について尊重されること、仲間を作り集まって話し合いや活動を行うこと)

○参加する権利

○参加する権利

○自由に意見を表明し、十分に考慮してもらえること

○参加する権利(自由に意見を表したり、団体を作ったりできること)

○参加する権利 自己表現していける、自分の思いを伝えていける

○参加する権利

○社会の一員として認められる権利(意見を聴かれる権利)

(大人からすると未熟な意見であっても表明し話し合う権利)

○意見表明権

○いじめられない権利(守られる権利)

小・中学校において、いじめを予防し、早期に発見・対処することは重要な課題となっています。数十年前の話となりますが、区内の中学生がいじめで自殺してしまった事件があり、いじめが社会問題となる契機となりました。このような事件を二度と起こさないという決意を中野区として発信するために、「守られる権利」という表現にとどまらず、「いじめられない権利」として分かりやすく明記し、子どもたち・社会全体に発信していく必要があると考えました。

○子どもに合った学習・教育の場を保障する権利(個別の必要に応じて支援を受ける権利)

不登校の問題も、中野区だけでなく全国の小・中学校において重要な課題となっています。子どもは子どもの成長・発達にふさわしい学校や学習・教育の機会を要求することができ、国や地方公共団体はそれに応える義務があります。

○教育機会を均等に受ける権利

○性別や条件、環境に左右されずに学ぶ権利

○その子にとって最もよいことを考えてもらえること

○子どもの最善の利益

○どんな理由でも差別されず、全ての権利が保障されること

○生き生きと生活できる権利

○差別の禁止

○安心できる権利

○相談できる権利

○子育て家庭を支えてもらえる権利

○ありのままの自分である権利 個性の尊重、差別しない・されない

○自分を守り守られる権利 他から守られるだけでなく、自分で自分を守る

○かけがえのない時を過ごす権利　生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利という4本柱がこの言葉に詰まっている感じがする

○ありのままの自分でいる権利

○自分を守り、守られる権利

○自分の意思で決める権利

○個別の必要に応じて支援を受ける権利

○安心・安全に失敗する権利(ほかの人の権利を脅かさない範囲で)

様々な事例から子どもの権利を読むと、全ての大人にも必要な権利ばかりだと感じます。その中で大人と違う大切な権利をあげようと考え、失敗する経験ができることが一つ上げられるのではないかと思います。

○暮らしやすい家に住む権利

○労働を強要されない権利

○医療を受ける権利

○有害な行為から守られる、大事にされる権利

○持続可能な地球・地域環境を生きる権利(気候・空気・資源)

○想像し表現する権利

【その他意見】

●児童の権利に関する条約における4分類を利用し、下位項目でそれぞれの権利を詳細にしていくという方法となります。下位項目については、中野区の調査や今後のアンケート結果を反映させながら、必要な項目を追加していくという形を考えています。

●付帯でもいいですが、どこかに何年後に条例の見直しと改訂を行うという文言を入れていただけると、子どもの権利条例が塩漬けになることなく生かされていくのではないかと思いますので、ご検討ください。

●学校の臨時休業時に中野区で実施されたGoogleクラスルームにおけるオンライン授業には、不登校の子ども達も参加することができたと聞いています。この事例からも、子どもが進んで学校に行き学習ができるように環境を整備するだけでなく、子どもの現状に応じた環境を整備し、学習権の保障をしていくことが大切だと考え、しっかりと明記することで子ども達に発信していくことが必要だと思いました。

●条例で子どもの権利というときは、子どもの権利条約で定める権利・理解に基づくものであることを明記する。

●子どもの権利には様々なことを明記し、条例の附則に第1条～第42条を記載する。

- これら様々な子どもの権利すべてに関わるものとして、下記4つの権利があることを明記する。
- 基本的に、子どもの権利の一体性を損なうことなく、中野区で子どもの権利に関わる施策・政策を検討する際に常に条約に立ち返ることが重要と考えています。そのため、条約に定める子どもの権利全文の記載が必要と思います。
- もし、いくつかの権利(条文)をピックアップして載せる場合も、条例と条例に基づく施策のモニタリング・評価と定期的な検証・見直しについて明記し、「権利のカatalog」についても区内の権利擁護の実態や施策の状況に照らしてその内容が不十分であることが判明した場合には、適宜見直すことが必要と考えます。
- 全ての権利を載せるべきと考える。
カatalogを条例に記載「するか」「しないか？」が、この宿題につながっているのであれば、その前に話すことがあると思います。この条例の働きを決める大きなことがあるかと。
 - 1 権利内容の明示 普及 理解を深める 権利内容に重き置くのか
 - 2 権利内容を語らない。権利内容の擁護していく擁護の内容に絞るのか
 - 3 権利内容の明示普及と理解を深めつつ、擁護の必要性を説、擁護していくのか
(私はこれを支持したいです。長くない配慮して)
 - 4 権利内容を概要とし、擁護の必要性を説き、擁護していくのか子どもの権利条約わかりやすい言葉で、きちっと載せる。
- 国連「子どもの権利条約」は、世界のすべての子どもたちがもっている権利について定めた国際条約です。日本は1994年に批准・発効しました。子どもにとって最善の利益を実現するために、「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」について、守るように定められています。
 - 1.18歳になるまでのすべての子どもの権利です。
 - 2.どんな差別も受けません。
 - 3.君の最善の利益を考えます。
 - 4.国は君の権利を守る責任があります。
 - 5.親や大人は君を導く責任があります。
 - 6.生きること、成長することを支えます。
 - 7.君は名前や国籍をもちます。
 - 8.君の身元は守られます。
 - 9.親と暮らすことが大事にされます。
 - 10.国が違ってても自分の親と会えます。
 - 11.勝手に他の国に連れ出されることはありません。
 - 12.君の意見は尊重されます。
 - 13.表現し、情報を得る自由があります。

14. 考え、判断し、信仰する自由があります。
15. みんなで集まる自由があります。
16. 君のプライバシーは守られます。
17. マスメディアから情報を得ることができます。
18. 親は君を育てる自由があります。
19. 君は誰からも傷つけられません。
20. 親と暮らせないときは、国が責任をもって育てます。
21. 養子縁組や里親は、君の最善の利益を考えます。
22. 移民や難民の子も同じ権利をもっています。
23. 障がいがある子は特別な支援を得られます。
24. みんな最善の医療を受けることができます。
25. もし親と離れても、君の生活の質は守られます。
26. 貧しいときも困ったときも、社会が君を支えます。
27. 食えること着ることなど、安心して暮らすことができます。
28. よい教育を受けることができます。
29. 教育は平和と尊敬と自然の大切さを教え、君の力を高めます。
30. 少数民族の人たちのことばや文化や宗教も尊重されます。
31. 遊ぶこと、ゆっくり休むことはとても大事です。
32. 君を傷つけるような労働から守られます。
33. 危険な薬物や薬から守られます。
34. 性的暴力や搾取から守られます。
35. 赤ちゃんや子どもはけっして売買されません。
36. 幸せを妨げるすべての搾取から守られます。
37. 子どもには暴力的な罰や死刑はありません。
38. 15歳になる前の子をけっして戦争に巻き込みません。
39. 大人の犠牲になった子どもの心身の回復は、国が責任をもちます。
40. 君が罪をおかしたなら、法にのっとり、公正な保護と支援を受けます。
41. 子どもにかかわる日本の法律を、もっともっと良いものにします。